



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 互応化学工業株式会社

コード番号 4962 URL <http://www.goo-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 西川 憲一 TEL 0774-46-7777

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,917	△1.6	201	△5.0	222	0.1	151	31.9
27年3月期第1四半期	1,948	7.0	211	2.2	222	△7.2	114	△69.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 167百万円 (35.9%) 27年3月期第1四半期 123百万円 (△71.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	22.84	—
27年3月期第1四半期	17.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	15,310	13,183	85.9
27年3月期	15,262	13,214	86.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 13,150百万円 27年3月期 13,181百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,800	2.1	275	△23.6	335	△25.3	217	△18.5	32.73
通期	7,600	1.4	680	△17.0	760	△21.5	510	△14.4	76.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	6,992,000株	27年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	361,515株	27年3月期	361,515株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	6,630,485株	27年3月期1Q	6,630,485株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、緩やかな回復基調が持続し、世界経済も緩やかな回復基調ながら、中国を中心とした新興国の景気下振れリスク及びユーロ圏ではギリシャ情勢のリスクが残り、地政学的リスクも含め、世界経済が減速に向かう可能性には留意する必要があります。

このような状況のもと、当社グループでは、国内に於いてはスマートフォン分野やアミューズメント分野、自動車関連分野が好調に推移しました。また、合繊織物業界は、国内は好調ながら輸出は生産調整の影響で低調な動きとなりました。その他の分野では、水溶性ポリエステル樹脂関連は国内外共に好調に推移しました。また、化粧品関連はシャンプー・コンディショナー用分野が、新規獲得を図り順調な動きとなりましたが、ヘアセット分野は需要が一巡しやや低調な動きとなりました。そのほか、市場の低迷が続く印刷関連分野に於いては回復の動きが見られる中、環境を考慮した製品を投入するなど、今後の市場ニーズを担う展開を図っております。

さらに、人を豊かにする、高機能で高付加価値な製品を提供するために、「一緒にわくわく、一番わくわく」のスローガンを掲げ、社員一人ひとりが、やらされる仕事をこなすのではなく、「そもそも」を自然と考える様になることを目指し、「いちわく」の合言葉の基、組織風土の創生にも努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,917百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は201百万円（同5.0%減）、経常利益は222百万円（同0.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は151百万円（同31.9%増）の減収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## (反応系製品)

反応系製品の中で繊維業界につきましては、織物生産が海外から国内へ回帰し、国内市場は細番手織物をはじめ織物全般に安定しております。一方、海外市場は中国や韓国で細番手織物の生産調整が継続し弱含みの動きとなりました。その中で当社グループは、海外売上の落ち込みを国内売上でカバーするよう努力致しましたが至りませんでした。

化粧品業界につきましては、ヘアスタイリング剤分野でユーザーの大型リニューアル需要が一巡しやや低調な推移となりました。その中で当社グループは、スキンケアやメーキャップ用途の樹脂開発と新規ユーザーの開拓を進めました。また、シャンプー・コンディショナー用添加剤用途では新規獲得を積極的に進め順調な推移となりましたが、ヘアスタイリング剤分野の落ち込みにより低調な結果となりました。

製紙印刷関連業界につきましては、紙の光沢化工用ニスの市況は消費税増税後の個人消費の落ち込みで低迷が続いていましたが、パッケージ用途やダイレクトメール用途では市況低迷に底打ち感も見られ、圧着ニスやUVニスで回復の動きとなりました。その中で当社グループは、既存製品の高性能化を図るとともに環境対策関連製品として非危険物プレスニスや水性圧着ニス、省エネルギーシステムに対応した高感度UVニスの開発に注力し堅調な推移となりました。

そのほか、水溶性ポリエステル樹脂が主要用途の光学フィルム用途が堅調な推移となったほか、包装用フィルム用途が好調に推移しました。また、転写用樹脂は円安の追い風を受け輸出を中心に好調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は1,616百万円（前年同期比2.6%増）、営業利益は338百万円（同7.4%増）となりました。

## (混合系製品)

混合系製品につきましては、自動車関連やスマートフォンなどの国内電子部品市場が好調に推移しました。その中で当社グループは、自動車関連やスマートフォン向け、アミューズメント向け、LED向けの高性能インクに注力し好調に推移しました。一方、輸出におきまして、LEDやタッチパネル市場が低調で、LED向けインクやタッチパネル向けインクが大幅に減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は300百万円（同19.5%減）、営業利益は3百万円（同77.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は15,310百万円と前連結会計年度末に比べ、47百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ63百万円増加し10,696百万円となりました。これは、現金及び預金が147百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が118百万円、仕掛品が22百万円、原材料及び貯蔵品が27百万円、その他に含まれる前払費用が21百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ15百万円減少し4,613百万円となりました。これは、投資その他の資産が27百万円増加しましたが、有形固定資産が38百万円、無形固定資産が4百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

流動負債は前連結会計年度末に比べ64百万円増加し1,596百万円となりました。これは、未払金が18百万円及び未払費用が13百万円、役員賞与引当金が22百万円それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が43百万円、電子記録債務が36百万円、未払法人税等が14百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ14百万円増加し530百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が8百万円増加したこと等によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ31百万円減少し13,183百万円となりました。これは、利益剰余金が47百万円減少したこと等によるものです。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から647百万円減少し2,109百万円となりました。

各キャッシュ・フローの概要は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は146百万円(前年同期比150.1%増)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益221百万円(同23.9%増)に対し、売上債権の増加額120百万円(同7.4%減)及びたな卸資産の増加額63百万円(同70.0%増)、未払消費税等の減少額40百万円(前年同期は増加額40百万円)があったものの、減価償却費73百万円(前年同期比9.2%増)、仕入債務の増加額85百万円(同1.5%増)があったこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は610百万円(同760.4%増)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入1,723百万円(同0.2%増)があったものの、定期預金の預入による支出2,223百万円(同29.3%増)及び有形固定資産の取得による支出109百万円(同56.8%増)があったこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は184百万円(同0.1%減)となりました。これは、配当金の支払額184百万円(同0.1%減)によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、概ね予想の範囲内で推移しておりますので業績予想の見直しは行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,193,364	7,046,085
受取手形及び売掛金	1,958,685	2,077,675
商品及び製品	632,370	645,765
仕掛品	297,417	319,849
原材料及び貯蔵品	471,295	498,592
繰延税金資産	57,212	57,826
その他	24,896	51,228
貸倒引当金	△1,638	△188
流動資産合計	10,633,604	10,696,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,800,731	3,808,693
減価償却累計額	△3,050,765	△3,063,250
建物及び構築物(純額)	749,965	745,443
機械装置及び運搬具	6,443,327	6,451,327
減価償却累計額	△5,798,641	△5,841,841
機械装置及び運搬具(純額)	644,686	609,485
工具、器具及び備品	912,817	899,094
減価償却累計額	△833,701	△821,906
工具、器具及び備品(純額)	79,116	77,187
土地	2,067,816	2,067,816
建設仮勘定	143,978	147,222
有形固定資産合計	3,685,562	3,647,155
無形固定資産		
投資その他の資産	104,801	100,161
投資有価証券	815,583	842,954
繰延税金資産	9,860	10,158
その他	23,489	23,235
貸倒引当金	△10,455	△10,443
投資その他の資産合計	838,477	865,905
固定資産合計	4,628,841	4,613,222
資産合計	15,262,445	15,310,056

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	564,101	607,833
電子記録債務	417,981	454,460
未払金	203,878	185,048
未払費用	14,584	1,577
未払法人税等	66,093	80,623
賞与引当金	118,222	119,452
役員賞与引当金	30,500	7,625
その他	116,390	139,745
流動負債合計	1,531,753	1,596,367
固定負債		
役員退職慰労引当金	115,861	117,742
退職給付に係る負債	400,214	408,399
繰延税金負債	276	4,405
固定負債合計	516,352	530,547
負債合計	2,048,105	2,126,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	11,484,557	11,437,115
自己株式	△268,988	△268,988
株主資本合計	12,885,558	12,838,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,133	239,829
為替換算調整勘定	74,151	72,417
その他の包括利益累計額合計	296,285	312,247
非支配株主持分	32,495	32,777
純資産合計	13,214,339	13,183,141
負債純資産合計	15,262,445	15,310,056

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,948,669	1,917,082
売上原価	1,256,224	1,190,269
売上総利益	692,445	726,813
販売費及び一般管理費	480,576	525,494
営業利益	211,868	201,318
営業外収益		
受取利息	2,604	2,526
受取配当金	2,385	2,853
為替差益	—	2,702
受取ロイヤリティー	7,243	10,984
その他	2,186	4,541
営業外収益合計	14,420	23,609
営業外費用		
売上割引	2,236	2,384
為替差損	1,893	—
その他	116	192
営業外費用合計	4,246	2,577
経常利益	222,042	222,350
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	100	—
固定資産除却損	30	802
役員退職慰労金	43,099	—
特別損失合計	43,229	802
税金等調整前四半期純利益	178,812	221,547
法人税、住民税及び事業税	27,949	74,897
法人税等調整額	35,430	△5,204
法人税等合計	63,379	69,692
四半期純利益	115,433	151,855
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,857	151,472
非支配株主に帰属する四半期純利益	576	382

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,844	17,696
為替換算調整勘定	△10,881	△1,835
その他の包括利益合計	7,963	15,860
四半期包括利益	123,397	167,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123,419	167,434
非支配株主に係る四半期包括利益	△22	281

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	178,812	221,547
減価償却費	67,742	73,959
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	158	△1,445
賞与引当金の増減額 (△は減少)	268	1,229
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22,875	△22,875
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△59,405	1,880
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,243	8,231
受取利息及び受取配当金	△4,990	△5,380
為替差損益 (△は益)	△652	△1,888
ゴルフ会員権評価損	100	—
有形固定資産除却損	30	802
売上債権の増減額 (△は増加)	△129,692	△120,087
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△37,363	△63,531
仕入債務の増減額 (△は減少)	83,984	85,203
未払消費税等の増減額 (△は減少)	40,853	△40,191
未払金の増減額 (△は減少)	104,047	44,511
未払費用の増減額 (△は減少)	△10,803	△12,965
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△18,998	△30,519
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	62,688	65,710
その他	1,047	△5,259
小計	256,196	198,931
利息及び配当金の受取額	5,686	6,267
法人税等の支払額	△203,125	△58,248
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,756	146,950
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,720,409	△2,223,703
定期預金の払戻による収入	1,720,469	1,723,936
投資有価証券の取得による支出	△1,251	△1,271
有形固定資産の取得による支出	△69,845	△109,488
固定資産の除却による支出	—	△580
貸付けによる支出	—	△187
貸付金の回収による収入	42	421
その他	—	51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,994	△610,821
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△184,517	△184,338
財務活動によるキャッシュ・フロー	△184,517	△184,338
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,033	698
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△199,788	△647,511
現金及び現金同等物の期首残高	2,004,373	2,757,097
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,804,584	2,109,586

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,575,510	373,159	1,948,669	—	1,948,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	68,698	—	68,698	△68,698	—
計	1,644,209	373,159	2,017,368	△68,698	1,948,669
セグメント利益	314,919	16,667	331,587	△119,718	211,868

(注) 1. セグメント利益の調整額△119,718千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,616,704	300,378	1,917,082	—	1,917,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	46,334	—	46,334	△46,334	—
計	1,663,038	300,378	1,963,417	△46,334	1,917,082
セグメント利益	338,218	3,731	341,949	△140,630	201,318

(注) 1. セグメント利益の調整額△140,630千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。